

令和3年度 岡田こども園自己評価結果シート

令和3年度自己評価シート 実施日 令和4年1月17日～1月31日

自己評価実施者 全職員16名(産休中、短時間勤務者含む)

評価(A, B, C, D)欄に回答記入人数を明記

A: たいへん良い
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

1、保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	9	7			・「子どもは地域の宝」の理念の基、ひとり一人の実態をとらえ、目標設定をしている。 ・自然豊かな岡田の地の活用や農園活動等で特色づくりを進めている。 ・令和元年に幼保連携型認定こども園に移行し、幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、保護者の就労状況に対応している。法制度の変更や保育ニーズに応じている。 ・自己評価は今年度初めて取り組みである。各項目全職員での検討、話し合いの機会が少ないので課題である。工夫と改善で共通認識を高めていきたい。
	(2) 目標は、本園、及び地域の特色を生かしているか。	12	4			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	7	9			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、且つ共通理解を図っているか。	4	7	5		
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	11	5			・ひとり一人の興味関心と集団保育としての意味、意義を高めること、また「夢中になって遊ぶ姿」を常に予測し、指導案を作成している。 ・教育保育方針に「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に依拠し…」と明記している。 ・こども園として、カリキュラム・教材研究・園内研修等が全職員に必要である。次年度は学びを深める機会を多く持ちたい。 ・評価結果及び今年度の反省、気付き等を次年度の改善に生かしていく。
	(2) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	9	6	1		
	(3) 環境の構成を意識した保育教育やカリキュラム等の工夫をしているか。	9	5	2		
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	7	8	1		
	(5) 評価結果を基に、保育教育の改善に努めているか。	8	7	1		
日 時 程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	6	9	1		・年齢、季節、活動内容等によって柔軟な対応をしている。 ・感染症対策等新たな視点、デイリープログラムを計画する必要性も感じる。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	3	12	1		・コロナ禍でも日頃の保育教育内容を運動会競技種目や表現会テーマに組み立て、実施した。子どもの主体性や協同性は育まれたと感じている。 ・行事記録、反省等の記録を残している。評価、改善の視点をより意識して、体制作りが必要である。 ・運動会年長児マーチングを中止したことについて、保護者への説明不足があった。種目内容の設定意義や変更等については丁寧な説明を行い、理解を得て、改善に繋げたい。保護者アンケートを学期毎や行事毎に実施することも検討する。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分に生かしているか。	6	10			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、主体的・協同的な活動になっているか。	6	10			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	6	10			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	5	8	3		

2、保育・教育の実践における組織体制と諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	5	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験年数、資格、個性、希望等を加味して、配置、担任決定をしている。 ・職務分掌表、役割分担表で明記している。が、職務内容が正職や一部の職員に偏っている内容もある。役割分担及び体制作りは強化、改善の必要がある。 ・保育士・保育教諭の人材確保、人材育成が必須である。
		(2) 職員の配置は適材適所か。	5	10	1		
		(3) 職務内容が明確で協議ができる体制になっているか。	5	10	1		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	5	9	2		
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	5	11			<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間内に話し合いや会議を行い、時間外勤務はなるべく行わないように工夫している。時間が限られている為、不十分な場合もある。 ・全職員での会議が必要である。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	4	11	1		
		(3) 打ち合わせ、話し合いの回数、時間帯、内容は適切か。	4	10	2		
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢・クラス別目標は、保育教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	8	8			<ul style="list-style-type: none"> ・研修講師の著書や近年発行されている指導書等を参考に、年間、月、週日案を作成している。 ・子どもの実態や成長発達具合をとらえて、計画、実践を行っている。子ども達の興味関心の動向により変更されていく内容もある。 ・全員が兄弟姉妹のように触れ合い、育ち合う関係性を大切にしている。 ・週日案、個人観察記録、クラス便り等、子どもの姿、発達に関する記録を残している。が、記録の残し方、様式については、話し合いや検討が必要である。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	8	8			
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	9	7			
		(4) 本園らしい特色や集団の個性が表現できる工夫が見られるか。	10	5	1		
		(5) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	7	8	1		
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	5	11			<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画、安全計画と、月指導内容を連動させている。 ・避難訓練は毎月実施している。が不審者対応等更に緊張感をもつての訓練が必要と考える。 ・新型コロナウイルス感染症については、こまめな検温、手洗い消毒、換気の実施等、繰り返し注意喚起を行った(保護者への手紙配布)。 ・コロナ禍で園外保育の活動は限られた。交通指導は園舎回りの散歩時等に行った。地域住民、小中学校との連携は子育て支援協議会等を通して行っている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	7	8	1		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	6	10			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域・関係機関等との連携を図っているか。	7	9			

3、情報発信、開かれた園・施設づくりに関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	12	4			<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書を配布し、同意書をとっている。行政や保健師等個人情報に関する内容は、慎重に扱い、適切に対応している。 ・舞鶴市、京都府との公文書は理事長から一任され園長が適切に行っている。 	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	10	6				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検等を計画的に行っているか。	6	10			<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検票を月・日でチェックし、安全環境を心がけている。 ・110番直結非常通報装置、さすまた、ネットランチャー等、不審者侵入を防ぐ対応用品を整備している。 ・不審者に対する職員訓練が実施出来ない。 ・玄関(靴箱横)に、ホワイトボード等を用意し、クラス便り、献立表(展示食)、緊急連絡等、掲示している。 	
	(2) 遊具・用具等を、活用し易いように整理・保管しているか。	6	9	1			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	3	6	7			
	(4) 掲示物、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	5	11				
出納経理	(1) 施設運営経理及び保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	10	6			<ul style="list-style-type: none"> ・KANNSAI税理士法人舞鶴事務所に、毎月、確認を受けながら、出納職員(園長)が業務を行っている。 ・保護者会会則、保護者会会長の依頼を受け、園で会計処理をしている。 	
開かれたことも園づくり	施設間交流・連携	(1) 素材・用具を適切に活用しているか。	6	10			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小中学校と連携継続活動をしている。特に岡田小学校1年生とは生活科授業として、年長児が連携継続に積極的に取り組んでいる。 ・自然物、身近な空き箱、穴あけ道具等、子ども達の希望する物、必要な物を話し合い、準備活用することが出来た。 ・回数やデイリープログラムは教師と話し合いを重ね、柔軟な対応で変更、実践を重ねた。学校文化と園文化を理解しながら取り組んだ。
		(2) 評価結果を基に、保育教育の改善に努めているか。	7	9			
		(3) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	6	10			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	3	10	3		<ul style="list-style-type: none"> ・この度、園・学校関係者評価委員の皆様初めて公開保育を実施した。 ・コロナ禍でもあり、保護者向け参観日、給食試食会等が行えていない。 ・地域の民生委員、主任児童委員と共に「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っている。岡田地域の赤ちゃん誕生を祝い、保育士の専門性を生かした取り組みとなっている。 ・地域の写真愛好家と共に年長児の絵画展を11月始めに行った。(会場:加佐公民館)子ども達の絵画等を通して、園を紹介する良い機会となった。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	4	12			
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	5	10	1		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	4	11	1		

4、園・施設の透明性と保育教育の可視化、子育て支援等に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
開かれたこども園づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て環境として、園庭、遊戯室、保育室等を開放しているか。	6	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍になる前は、園庭開放、未就園児運動会招待等行っていた。 ・子育て支援サークルひまわりが「たき火体験」の会場として園庭を利用した事例がある。 ・保護者対象の研修会、学習の機会は設けていない。感染症等感染が終息したら取り組みたい。 ・学校医、保健師、子ども相談センター等、各関係機関と連携している。今年度は、児童相談所関係の対象児がいなかった。 	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	1	8	6	1		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	5	10	1			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	8	8				
	情報の発信	(1) こども園だより・ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	7	9				<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラス便りを毎月発行し、保護者、地域住民等に配布している。園玄関にも掲示し、情報発信としている。 ・子育て支援協議会、小学校とは、花いっぱい運動で交流、情報交換をしている。コロナ禍で他の取り組みは行っていない。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の子育て支援協議会や小学校等に対して発信しているか。	9	7				
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	11	5				<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に第三者評価を受診した。項目毎に気付き、課題のあるところは見直し、評価結果を生かしている。 ・保護者の意見、感想を聴く機会は連絡帳が主であった。今後はアンケートを継続的に実施し、意見を反映させていきたい。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	8	8				
総評	<p>* 全体的にはA, B評価を多くの職員が回答している。</p> <p>* 特に「目標は園・地域の特色を生かしている」と「クラス運営において、本園らしい特色がある」の項目は高評価である。自然環境や野菜の栽培収穫等の活動は、食育に繋がるだけでなく、観察力や思考力、生活力の育みに繋がっており、保育教育活動を実践していても手応えがある。</p> <p>* C評価は、全職員での話し合いの不足、カリキュラム研究不足等の回答がある。保育教育の質の向上と共に保育者・職員にとって「働き易さ」を目指す本園は「時間外労働」を極力無くしている。担当毎、年齢毎の話し合い、会議等で済ませているので、園全体での周知徹底、保育教育を語り合う時間を創りだしていくことが最重要課題である。子ども達の「育ち」「成長の姿」「保育教育の質の向上」は、可視化し難しく、今後も課題となる。園内研修体制の充実や各研修会を活用していきたい。</p> <p>* コロナ禍であり、行事の見直し、保護者参観、試食会等の中止をおこなった。保護者アンケートでも「コロナが終息したら、再開を望む」の意見が多かった。園児、保護者、地域、こども園が対面で、和気あいあいと活動できる日が来ることを切に望んでいる。感染症対策を行いながら、時代に相応しい、安心安全な園運営を心がけていきたい。</p> <p>* 保護者への子育て支援には、感染症対応や保育制度等の中で、本園保護者に必要な支援活動を模索し、提供・提案していきたい。</p> <p>* こども園は、3歳未満児の保育・教育と3歳児から5歳児(就学前子ども)の教育・保育が軸となっている。乳児保育と幼児保育・教育が繋がり、園全体で育ち合い、学び合いをして成長している。私たち保育士、保育教諭、栄養士等は、今後も自己評価を行い、本園の実践に真摯に向き合い、気付きと改善を行い、成長していきたい。</p>							